

2012 年頭所感



財団法人 企業経営研究所
理事長

岡野光喜

創生

わが国の社会・経済は今、大きなパラダイムシフトの時を迎えている。この変わり目にあって、多くの尊い命が失われた東日本大震災からの復興、経済の大きな枠組みが変わるTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加への意思決定、欧州債務危機・米国経済の低迷による歴史的な円高への対応など、新しい時代へ向け克服しなければならない大きな課題に直面している。さらに、本年は世界のエレクション・イヤーで、米・露・仏といった大国で大統領選挙があり、アジアにおいても中国では指導者が交代し、韓国では大統領選挙が行われる。

顧みると、戦後から豊かさを求めて走り続け、見事な発展をもたらした努力は賞賛に値することはいうまでもない。しかし、バブル経済破綻以降、ITバブルの崩壊、リーマンショックという2度にわたる不況やアジアを中心とする新興国の台頭などから、わが国は自信をなくした状態が長期化している。また、物質的な豊かさを追い求めた中で、心やモラルを忘れたかのような事件も相次いでいる。これらの経済的変動や社会的事件は、グローバル化した巨大社会の複雑な仕組みのなかで織りなされる現象であり簡単に解決する問題ではないが、一度振り返ってみる節目にきているということは誰もが否定することはできないであろう。

今の世界には、経済がよくないから社会不安が高まり、その結果、政治はポピュリズムに走る。そして経済は停滞し、財政はさらに悪化するというスパイラルに陥るといふ共通した認識がある。この悪循環を食い止めるためには強いリーダーシップをもった政治家が必要であろうが、一方で、生活の中で積極的に活動しているボランティアやNPO組織の役割がますます重要になるであろう。そして先の大震災で被災からいち早く起き上がってきたのは自力を発揮した民間企業であり、被災地の復興に積極的に力を注いだのは若者である。ここに、わが国の将来に希望の星を見つけた感じがした。

新春にあたり大切なことは、この節目を日本への再生元年として、新しいスタートにすることであろう。わが国、地域、生活者一人ひとりにとって何が本当の価値かを再考し、真の豊かな地域社会を創造したいと望むものである。

弊所も、新しい地域社会の方向を模索すると共に、中堅・中小企業の健全な発展の礎となるべく、従来にも増して努力を積み重ねてまいります。今後とも、倍旧なるご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

CONTENTS

年頭所感	岡野 光喜
波濤	2
震災で気づいた日本社会の力	金子 郁容
特集	3
2012年のキーワード	
円高・国内空洞化のゆくえ	伊藤 宗彦
会社の歴史を学ぶ	森川 英正
消費の新潮流	首藤 明敏
TOGETHER TALK	16
第59回 お客さま 原田 真人さん	
ビジネスリーダー	22
介護ビジネスのゆくえ 阿部 信子	
経済展望	26
2012年上期の経済・金融展望 美和 卓	
インタビュー	30
株式会社栗山米菓 栗山 敏昭	
トレンドの芽は女ゴコロにあり!	34
第12回 女性はみんな「かわいい雑貨」が好き?	
	石田 美穂
地域フラッシュ	36
静岡 岡／開通が迫る新東名高速道路への期待 神奈川／「風評被害」払拭か?	
RESEARCH EYE	38
静岡県東部地域企業経営動向調査	
TOPICS	40
2011年度 海外研修・研究等助成事業 研修報告	
編集後記	